

2. 2026年2月24日(火)大清水中学校を対象にした認知症フレンドリー講座は4回を数え、今年度は新たに第一中学校も3月2日(月)に開催しました。

第一中学校

大清水中学校



令和7年度活動報告 ふじさわみらい部会 部会長 米井 健将

2025年はふじさわみらい部会として子ども向けイベントを継続開催し、学校では得られない体験の提供に努めました。今回は、市長にも出席いただき、子どもが日ごろから感じている疑問や質問をぶつけてみよう、という内容でした。

参加者の笑顔や保護者の声から活動の意義を実感し、2026年は藤沢市とも連携して地域活動を拡大する計画を進めています。今年もよろしくお祈りします。



藤沢地区郷土づくり推進会議事業

ようこそ市長室へ!

夏休み半日市政体験

～ 私たちが描く、2035年 藤沢の未来 ～

2025年7月26日(土) 9:30-12:00
集合：藤沢市役所 本庁舎 1F 総合案内 前

内容 ※当日変更になる可能性があります

- (1) 特別見学ツアー (本庁舎 議場・傍聴席・分庁舎 等)
- (2) 鈴木市長とのディスカッション
～ 20年後「こんな藤沢市にしたい!」私たちが市政へ伝えたい事～
- (3) 市長室にて記念撮影

持ち物/準備
・筆記用具/アイデア (市長とディスカッションしたいこと)

申込先: e-kanagawa <https://e.gd/fujisawamirai>

対象: 藤沢地区にお住まいの小学4年生～6年生 (保護者1名まで同伴可)

募集人数: 12名 ※定員を超えた場合は抽選となります。

申込期間: 6月10日(火)午前10時～6月30日(月)午後5時 まで

会場: 藤沢地区郷土づくり推進会議 ふじさわみらい部会
場所: 藤沢市役所 本庁舎 1F

問い合わせ: 藤沢市役所 総務課 藤沢市市民センター 1-12-17 平日午前9時～午後5時
0466-22-0019 Fax 0466-22-0293 E-Mail: info@city.fujisawa.lg.jp



SNSを始めました。フォローお願いします!

Note:
https://note.com/fujisawa_mirai



Instagram:
https://www.instagram.com/future_fujisawa/



明日を創る

藤沢地区郷土づくり推進会議 検索



ご挨拶 藤沢地区郷土づくり推進会議 議長 廣瀬 宣昭

日頃より地域の皆様には藤沢地区郷土づくり推進会議に多大なご支援をいただきありがとうございます。

藤沢地区郷土づくり推進会議は委員26名で、そして部会は3部会「地域活性化部会」「見守り活動部会」「ふじさわみらい部会」で構成され活動しております。これからも藤沢地区郷土づくり推進会議は地域の皆様とともに楽しいまちづくり「安全、安心、暮らしやすい」を目指して活動してまいりますので、これからも地域の皆様の力強いご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2月14日 令和7年度藤沢地区全体集会在開催されました

今回の全体集会は二部構成で、第一部では今年度の各部会の活動報告、第二部では「藤沢の“みらい”を考えよう」のテーマで参加者からの意見を募りました。

栃本副議長の名進行に合わせ、「道路がわかりにくい・狭い」「地下水を汲み上げるポンプ(井戸)を整備してほしい」「自転車のマナーが悪い」「防災意識・自助意識が弱い」「散策中に少し休める場所が欲しい」など時間いっぱいまで意見が挙がり、それぞれ専門分野を担当する部会員から現状と実現の方向性をお話ししました。中には郷土づくり推進会議で解決できない意見もありましたが、貴重な意見に推進会議の部会員だけでなく、参加してくれた市議会議員の皆さんも真剣に聞いていらっしゃいました。今回の試みに対し、「特に若い世代が参加したくなる企画を」「活動内容についてもっと周知できる仕組みを」などの感想をいただきました。



視察研修報告

2026年1月28日(水)、委員11名で旧東海道9番目の宿場町小田原市を視察に行きました。小田原市役所にて都市政策課職員による市の歴史まちづくりについての様々な取組について講話いただきました。

その後、旧東海道にある小田原宿なりわい交流館に移動し、交流館館長から小田原宿のまち歩きのお話を聞き、実際に説明を聞きながら小田原宿まち歩きをしました。まち歩きをしても宿場町を感じられる、まちづくりの取組、工夫が見られて良いまちづくりができていると思いました。藤沢市でも地区の魅力を伸ばす工夫などの事業展開をして多くの皆様に歩いていただけるまちづくりができればと思います。



市民センターまつり(10月18日、10月19日)への参加・協力

2025年も市民センターまつりに参加協力をしました。2日間の模擬店では、4種類14枚の当てくじを販売しました。販売は好調で、2日間で目標数の当てくじが完売となりました。



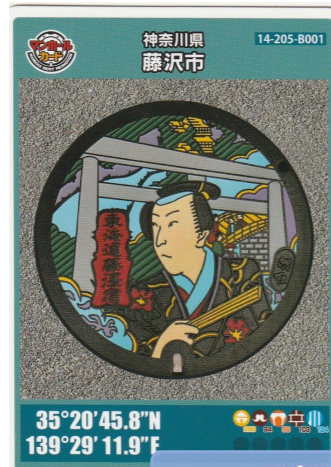
令和7年度活動報告 地域活性化部会 部会長 横山 英直

育んできた歴史・文化・自然を身近に感じながら、利便性と活気、あるいは暮らしやすさなどの多様性を持った地区形成を目指す活動を行いました。

1. 由緒ある歴史・文化を受け継ぎ、新たな魅力と文化を育むまちづくりで、歩いて楽しいみちづくりにつなげる活動



- ① 藤沢宿への関心を喚起し、下水道への関心を高める



マンホールカード



- ② 由緒ある歴史・文化を受け継ぎ、歩いて楽しいみちづくりにつなげる活動

小田急江ノ島線藤沢本町駅前に藤沢宿の案内看板を設置し、まち歩きの楽しさを向上させました。

2. 暮らしやすさなどの多様性を持った地区形成

地区各小学校周辺の交通安全策の検討
大道小学校・本町小学校周辺の通学路について、関係部局と交通安全策の検討を行いました。今後藤沢小学校、大清水小学校、大鋸小学校についても実施する予定です。



令和7年度活動報告 見守り活動部会 部会長 石井 昇

常日頃より見守り活動部会へのご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

1. 昨年と同様に2025年11月27日(木)には、本部会員であるCSW高橋部会員と藤沢東部・藤沢西部地域包括支援センターの方々の協力をいただきながら一般参加募集型認知症サポーター養成講座を参加枠40名に拡大し、2回目を開催する事ができました。

当日は参加者全員にアンケートの協力をしていただきました。

当日はスクリーン講義をはじめ認知症を正しく理解すると共に頼りとなる相談先や、生活を支える制度などの情報を共有していただきました。



*アンケートの問い
「認知症の方に、貴方は何ができそうですか？」

キーワード	人数
1 優しく接する	21名
2 声かけをする	21名
3 否定しない・相手に合わせる	22名
4 一緒に楽しめる事を考える	16名
5 話相手になる	18名
6 安心できるように接する	19名
7 認知症を理解する	23名
8 そっと見守る	17名
9 笑顔で挨拶をする	22名
10 認知症を受け入れるまちづくり	13名
11 今できる事は無い	1名



● 参加者の年代 20代1名, 50代8名, 60代8名, 70代6名, 80代3名 計26名